

東京都ものづくり 生産性革新スクール

入門
コース

2023 6/23 [金] 開講

生産性向上の基本(初歩)を学ぶ5日間

「入門コース」からスタートしませんか? /



STEP 1

入門コース
INTRODUCTION

CHALLENGE

自社の生産性を
向上させたい!

基本知識から
学びたい方

STEP 2

実践コース
ADVANCE

より実践的に
学びたい方

STEP UP

現場改善の
促進で
生産性向上へ

申込み・受講の流れ

1 お申込み

HP(右記QRコード参照)より「申込用紙」と「受講規約兼誓約書」をダウンロードしていただき、「勤務先の会社案内」と合わせて3点を6月9日(金)までに下記宛先まで郵送又はメールにてお送りください。



郵送でのお申込み

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町 1-9 東京都産業労働局秋葉原庁舎 5F

公益財団法人 東京都中小企業振興公社
総合支援部 総合支援課 生産性向上担当宛

メールでのお申込み

seisansei@tokyo-kosha.or.jp

2 受付

お申込みを受け付けます。
※受講対象に該当しない企業様はお断り
する場合があります。

3 受講決定/受講料振込

受講が決定された方は、開講日までに
指定する口座へ受講料をお振込み下
さい。

4 開講

受講期間は令和5年6月23日(金)から
7月21日(金)までの全5日間です。各
受講毎に1週間前を目途に教材を郵
送致します。

総合支援部 総合支援課

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F

● JR「秋葉原駅」中央改札口徒歩1分

TEL:03-3251-7917

E-mail seisansei@tokyo-kosha.or.jp

ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>



『東京都ものづくり生産性革新スクール』とは？

新たな付加価値を生み出す中核人材を育成する

当スクールは中小企業の持続的な成長において、新たな付加価値を生み出す「生産性の革新」を担う「中核人材」の育成を目的として平成28年に開講し、毎年実施して参りました。この間にも、技術革新やデジタル技術の導入は進みましたが、新型コロナウイルスの感染拡大、さらに原材料価格や光熱費の高騰により、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、生産性革新の重要性はますます高まっています。このような状況において、生産性を革新する方策として、『良い設計の良い流れ』を基軸とする「東京都ものづくり生産性革新スクール」を開講します。

「良い設計の良い流れ」とは

現場とは、付加価値の流れる場所であり、付加価値は設計情報に宿り、「良い設計」とは付加価値を拡大することであり、「良い流れ」とは顧客へ向かう付加価値の流れの淀み(問題点、ムダ)を発見、改善することです。

「東京都ものづくり生産性革新スクール」の構成

【入門コース】と【実践コース】により構成され、受講目的により個別にコースを選択し、受講することも可能です。

STEP 1

入門コース 5日間

生産性向上の 基本(初歩)を学ぶ

初歩レベルとして、生産性向上に関する基本となる知識を学びたい方や学び直したい方を対象として開催します。



入門コースのみの受講も可能です。

6月23日(金)
開講

受講生
募集中!

STEP 2

実践(アドバンス)コース 19日間

基礎編(9日間)

生産性向上の基礎を
体系的に学ぶ

生産性向上に関する初歩的なレベルの知識を有する方を対象として開催します。生産性向上のための現場改善手法・考え方を体系的に学び、自社の現場で実習インストラクターの指導を受けながら取組み、実践力を養います。



入門コースは実践コースの事前学習(プレスクール)の場になりますので、入門コースを受講して頂くことが望ましいです。

現場活用編(10日間)

基礎編で学んだことを
現場で活用する

8月下旬開講予定

入門コース募集について

募集期間 令和5年5月15日(月)～6月9日(金)

受講期間 令和5年6月23日(金)～7月21日(金)

受講時間 13:00～16:00

場所 「zoom」を利用したオンライン授業を予定

募集定員 30名

受講対象 都内中小製造事業者の中核人材候補の方
具体的には…

- 現場管理者候補の方
- これから現場改善を進めようとする中堅社員の方
- 生産管理や生産技術について学び直したい方

受講料 15,000円(税込/お一人につき) ※実践コースを受講される場合、別途受講料がかかります。



入門コースカリキュラム詳細

受講テーマ

生産性向上の基本(初歩)を広く学ぶ

『良い設計の良い流れ』を基軸として、QC、IE等の管理手法に機械設備保全を加え、広く生産性向上の初歩(基礎)レベルを学びます。講義は、現場支援の経験が豊富な講師陣が担当いたします。



実施日		内容(13:00～16:00)	
第1回	6月23日(金)	開講	ものづくり基礎概念入門(良い流れづくり、競争力とは 等)
第2回	6月30日(金)		ものづくり改善入門(改善の進め方 等)
第3回	7月7日(金)		QC入門(品質管理とは、統計量の基本、PDCAサイクル 等)
第4回	7月14日(金)		IE入門(IEとは、標準とは、分析手法の基本 等)
第5回	7月21日(金)		設備保全入門(設備管理の必要性、作業手順書とは 等)
			閉講

講師紹介

主任講師
竹中 秀夫

グンゼ(株)出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育、人事と広範囲な業務に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第11期修了。

講師
竹野 俊夫

高度ポリテクセンター能力開発教授。陸上自衛隊予備自衛官(技能・整備)2等陸曹。ウガンダ等で自動車整備を指導。また企業の現場で設備の保守メンテナンスや保全方法を幅広く支援。

著書/「目で見てわかる稼げる機械保全」、「目で見てわかる稼げる電気保全」、「目で見てわかる稼げる設備保全」、「作業手順書のつくり方・使い方」(いずれも日刊工業新聞社)など。

講師
伊藤 雄三

前・山形大学特任教授、米国系精密濾過フィルターメーカーにて、経営全般、工場運営に参与する。多くの企業の現場改善指導や経営アドバイスを実施している。ものづくりシニア塾1期修了。

講師
国谷 晃雄

キャノン(株)取手工場生産技術部長他、ものづくり現場を歴任。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第1期修了後、国内外において生産性革新活動を支援。

受講方法

ZOOMを使って全てオンラインで実施いたします

受講前の事前準備

- PCやタブレット等の端末(PC推奨)とインターネット環境、メールアドレスが必要です。
- その他ご不明な点がありましたら、事務局までご相談ください。



オンラインで
スムーズな受講を実現

